

不祥事根絶のための行動計画

東広島市立河内小学校

作成責任者 校長 大星 篤志

【求められる教職員像】

普遍的な事項

- 高い倫理観と豊かな人間性をもっている。
- 子どもに対する教育的愛情と教育に対する使命感をもっている。
- 専門性を発揮し、的確に職務を遂行できる。
- 社会や子どもの変化に柔軟に対応できる。

新たな「教育県ひろしま」の創造に向けて特に求められる事項

- 確かな授業力を身に付けている。
- 豊かなコミュニケーション能力を有している。
- 新たなものに積極的に挑戦する意欲をもっている。
- 他の教職員と連携・協働し、組織的に職務を遂行できる。

私たちは絶対に起こしません。体罰・セクハラなどのすべての不祥事。本気です。

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	<p>○毎年度、研修内容や研修方法を変え、新しい課題についても取り組むようにしている。やや研修の方法が画一化してきている。</p> <p>○自己の課題とするために、意見交流する時間をとるようにしている。自分事として捉えるような振り返りが十分でない。</p>	<p>○自己の事として考え、行動できる体制を整える。</p> <p>○もし自分が不祥事が起こしたらどのような影響があるか考える。</p>	<p>○他校の服務研修内容を参考にし、自分のこととして考えられる内容や方法を改善する。</p> <p>○身近な事例や不祥事を起こさないために各自が工夫実践していること等を取り上げ体験的な研修を実施していく。</p>	<p>○全体の研修で報告の場を設ける。</p> <p>○不祥事防止委員会で、研修内容を吟味する。(毎月)</p>
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<p>○分掌担当者個人の技量に依存しがちである。(仕事の量に偏りがある)</p> <p>○不祥事防止委員会では情報交換と研修計画の審議を行っているが、課題の手立てについて踏み込んだ話し合いが不十分である。</p>	<p>○業務内容を精選し、仕事分担、先を見通した計画を立て、組織で仕事を進められるようにする。</p> <p>○教職員の仕事上の悩み等について組織としての課題の解決を図る体制を整備する。</p> <p>○職員同士がなんでも言い合える職場環境にする。</p>	<p>○分掌部会や各委員会等で互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者だけの動きにならないように、チームで職務に当たる協働意識を高める。</p> <p>○1か月先、3か月先を見越した計画を立てるよう、年間計画及び毎月の行事計画を配付する。</p> <p>○不祥事防止委員会において、課題に対する組織としての対応を検討する。</p>	<p>○月に1回、不祥事防止委員会で情報交換を行い、状況を把握する。</p> <p>○週に一度は早く退校する日を設け、教職員の体調管理を行う。</p> <p>○服務研修後に「不祥事防止のためのチェックシート」を使った点検とそれに基づく面談を実施する。(5・11・2月)</p>
相談体制の充実	<p>○「体罰、セクシュアルハラスメント相談窓口」の認知度をさらに高めていく必要がある。</p>	<p>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し、相談しやすい体制作りをする。</p> <p>○日頃から、地域や保護者の方とコミュニケーションを図る。</p>	<p>○各教室すべてにポスターを掲示し児童に周知する。</p> <p>○PTA総会・役員会・学校だより等様々な機会を通して保護者に広報していく。</p>	<p>○児童・保護者からの相談内容を全教職員で共有し、改善に向けて協議する。</p>